弁護士・坂和章平

近い将来、あなたも裁判員に！

痴漢冤罪事件をテーマとした『それでもボクはやってない』（06年）は、通勤電車に乗る多くのサラリーマン諸氏を震撼させたはず。満員電車の中、片手で吊り革を持ち立ったままウトウトしていると、突然「この人、痴漢です！」なんて叫ばれたら……？

痴漢犯人として突き出されたあなたは、"自白"すれば罰金を払って釈放される。しかし"否認"すれば"被疑者"として逮捕・勾留された後、検察官によって起訴され、"刑事被告人"として法廷に立つことに。そんな時あなたは有罪率99・8%という刑事裁判の実態に唖然とするだろう……。

他方、09年5月までに施行されるのが裁判員制度。これは無作為に抽出された6名の素人が本職の裁判官と共に、殺人などの重罪で起訴された被告人を審理し、有罪・無罪と量刑を決めるものだ。アメリカの陪審制とヨーロッパの参審制を日本流にアレンジした制度で、裁判所は目下PRにやっきだが、その浸透度はイマイチ。

そりゃそうだろう。「つるせ、つるせ」の大合唱が西部劇でおなじみのように、アメリカでは元々裁判は市民がやるもの。だが日本では、司法への国民参加はまだお題目。にもかかわらず、全国平均3501人に1人の割合であなたが裁判員席に着く日も間近なのである！

アメリカには陪審映画の名作が多く、その代表が『十二人の怒れる男』（57年）。6日間の審理に立ち会い疲労困ぱいの陪審員たちは、早く結論を出そうと全員一致で有罪の評決を期待し投票したが、ただ1人、ヘンリー・フォンダ扮する陪審員8号だけは無罪に挙手する。

（いるいる、どこにでもこんなヘンな奴が!!）

もっとも彼は、目撃証人の証言や、「殺してやる」の言葉を聞いたという証人の証言の信憑性、そしてナイフによる心臓の傷跡などを確認したいだけだった。そんな中、「普通、眼鏡をかけたまま寝るだろうか？」という疑問が生まれてきたから大変。評議は俄然真剣味を増して熱を帯び、投票ごとに無罪票が増えていった。そして遂に最終投票は……！

スクリーン上で展開される迫真の評議ドラマは絶品で、「これぞ民主主義的討議」と言えるものだから、議論下手な日本人には絶好の教科書になるはずだ。

©2006 Metro-Goldwyn-Mayer Studios Inc. All Rights Reserved. Distributed by Twentieth Century Fox Home Entertainment LLC.

ジョン・グリシャム原作のリーガルサスペンス映画である『法律事務所』（93年）、『ペリカン文書』（93年）、『依頼人』（94年）、『相続人』（97年）、『レインメーカー』（97年）、『ニューオーリンズ・トライアル』（03年）はどれも日本の推理小説とは異質の、手に汗握る面白さ。

また、10歳の娘を2人の白人男にレイプされた黒人の父親が犯人を射殺した事件における、白人弁護士の奮闘を描いた『評決のとき』（96年）。そして、黒人による白人の女の子のレイプ事件を"デッチあげだ"と弁護するグレゴリー・ペック主演の名作『アラバマ物語』（62年）。これらは、アメリカの黒人差別を真正面に据えた陪審ドラマで、見ごたえ十分。95年に無罪の評決が下されて話題を呼んだ、元フットボールの黒人スター選手O・Jシンプソンの事件を考えながら鑑賞したいものだ。

日本でも"市民の司法参加を求めて―面白いぞ陪審員―"の謳い文句で上映された、日本人による、日本人のための裁判員ドラマ『12人の優しい日本人』（91年）は、名優豊川悦司をはじめ、個性豊かな裁判員が登場して迫真の評議ドラマを展開する。これがメチャ面白い！　ところが、近時裁判員制度のPR映画として最高裁判所が製作した『評議』と『裁判員～選ばれ、そして見えてきたもの～』は、あまりに教科書的では。

いずれにせよ、こんな映画をいっぱい観て、あなたが裁判員になった時のための予行演習を今からやっておかなければ。またきっとそれは、あなたがひょんなことで、逆に被告人席に座った時にも役に立つはず!?

ニューオーリンズ・トライアル／陪審評決　スタンダード・エディション

DVD発売中　2381円(税込／2500円)
発売元／東宝東和　販売元／ジェネオン エンタテインメント

ジョン・グリシャムの『陪審評決』が原作。陪審コンサルタントを主人公に、アメリカ陪審制の負の部分を大胆に描いたもの。陪審員への監視・尾行・盗聴、そして買収・脅しと何でもあり!

ワイルドシングス

07年5月23日DVD発売
1480円(税込)※期間限定
発売・販売元／ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント

君の凝る陪審映画が苦手な方は、これが話お薦め。レイプ事件に端を発するお色気と、2転3転4転（!）もする犯人捜し、そして奇妙な牧師、刑事、弁護士を巻き込んだ陪審制の3点セットを楽しめること請け合い!

十二人の怒れる男

DVD発売中
（スタジオ・クラシック・シリーズ）
2848円(税込／2900円)
販売元／20世紀フォックス ホームエンターテイメント

坂和章平
さかわ・しょうへい

1949年、愛媛県松山市生まれ。大阪大学法学部卒。大阪弁護士会所属。01年日本都市計画学会「石川賞」、同年日本不動産学会「実務著作賞」受賞。弁護士として活躍する傍ら、映画評論家としても精力的に活動。話題の映画検定3級にも合格。著書に『実況中継　まちづくりの法と政策PART4-「戦後60年」の視点から-』『ナニワのオッチャン弁護士、映画を斬る！　SHOW-HEYシネマルーム11』（いずれも文芸社）など多数。
http://www.sakawa-lawoffice.gr.jp/

ANOTHER SELECTION

レインメーカー

DVD発売中　2381円(税込／2500円)
発売・販売元／ジェネオン エンタテインメント

レインメーカーとは、法律事務所にお金を振りまく弁護士のこと。それとは正反対に、正義派弁護士となったマット・デイモンのカッコいい最終弁論は、あなたの涙を誘うはず。この映画を観に、脱サラして司法試験を志す人も生まれるのでは?